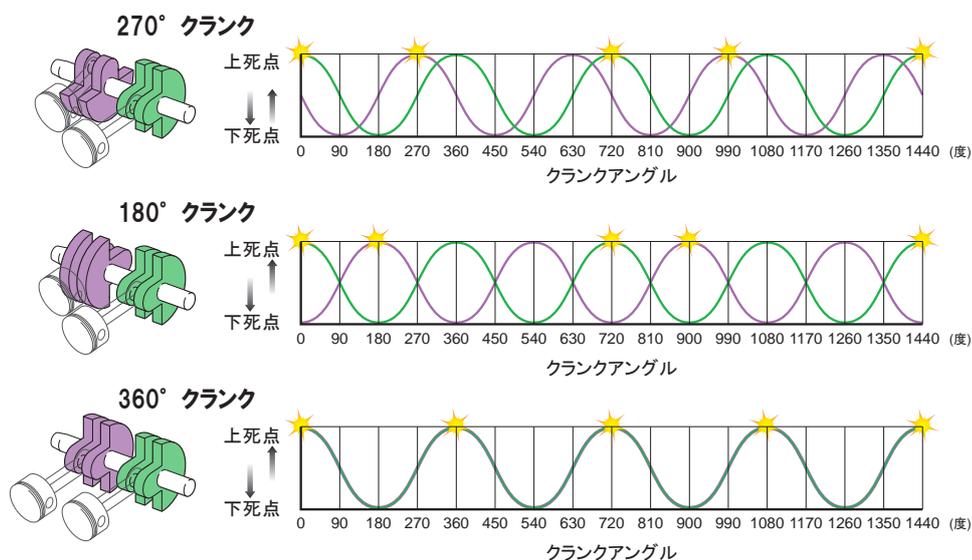


ミドルクラスの二輪車として、絶対性能ではなく、力強く味わい深い特性を気負わずに堪能できるエンジンとするために、等間隔爆発ではなく、270°位相クランクの不等間隔爆発を選択しました。これにより、エモーショナルな鼓動感のある、日常の足としても小気味よい味わいを具現化しました。

■270° 180° 360° クランク爆発間隔比較イメージグラフ



●ツイストクランク製法による 270° 位相クランク

270°位相クランクを鍛造するには、通常の上下割りの鍛造型だと製造工程でクランクウェブ部分に無駄な部分が多く発生し、その部分を完全に削る加工が困難なことから、重いクランクになってしまうという課題がありました。

そこで、クランクを上下割りの型で無駄のない360°の状態では鍛造した直後、クランクジャーナル部が冷える前に90°ねじって270°にする「ツイストクランク製法」を採用しました。

この「ツイストクランク製法」は、すでにHonda四輪車のV型6気筒エンジン用クランクで60°ねじって製造しているという実績があります。これを二輪車、四輪車の研究所内で共有し、90°ねじり技術を構築しました。軽量で最適なバランス率を有するクランクウェブ形状を後加工することなく実現し、重量増を回避しています。

■ツイストクランク製法前



■ツイストクランク製法後

